



第3ゾーンでは2018年11月から19年3月にかけて、GETS・国際協議会ご参加のお忙しい中、ガバナーエレクトの皆様方に「現在の地区の“地区・クラブの戦略計画委員会(ビジョン委員会)の設置状況”“地区・クラブの戦略計画(ビジョン)立案状況”などについてのアンケート調査を行いました。その概要については4月のRIZ1・2・3ゾーン会員基盤向上セミナーでお話を致したところです。地区戦略計画委員会は、Z3内の11地区中10地区が既に設置されています。未だの1地区についても現在設立に向け検討を重ねているようです。設立している10地区のうち8地区が活動を開始している、ことです。

クラブ戦略計画委員会につきましても、9地区からデータをお寄せ戴きました。最も多い地区では88%のクラブが委員会を設けています。60%台が2地区、30~40%台が3地区、20%台が2地区、0%が1地区、不明が2地区でした。地区ビジョン(地区中長期計画)を策定している地区は11地区中6地区、検討中が2地区、未決定が3地区あります。クラブに中長期計画を策定して戴くためにも地区が率先して手本を示す必要があるでしょう。

クラブビジョン(中長期計画)を策定している地区内クラブの76%を筆頭に、58、55、38%が2地区、33、30、20%という結果でした。未確認が2地区ございました。各地区が65~70%台に乗せて戴くように希望を致します。

クラブに明確な目標があれば活動計画や方向性を決めることができると考えます。目標策定のためには、これまでの活動状況、会員の関心、目標達成に必要な人材や資金を検討する必要があります。そのためには「クラブの強み」「クラブの弱点」などの内部調査が必要でしょう。それに加えクラブを取り巻く状況、或いは奉仕活動の受益者の調査などの外部因子の調査も必要でしょう。それにより地区・クラブの3~5年後に向けた目標・ビジョンが設定できるのです。そして、ビジョン策定後においては、定期的な検証をする事を決して忘れないことです。検証がないとこのビジョンは頓挫する可能性が十分に考えられます。ビジョン＝戦略計画があるクラブは、会員の満足度が高く、ロータリーに対する思い入れも強く、それがより高い会員維持率に繋がるとも言われています。

自らの地区、自らのクラブが未来に向け発展し続けるために自らの背丈に合ったビジョンを策定し、それに向け会員一同が結束されることをお願い申し上げます。

第3ゾーンロータリーコーディネーター 高島 凱夫 (大阪中之島RC)

変化を受け入れる

RI理事会は2017年6月新しいビジョンを採択し、2018年6月の理事会と管理委員会において、新しい戦略計画を承認されました。この計画は2019年7月1日からスタートします。RI会長のテーマは2017-18年度イアンH・S・ライズリー会長の「ロータリー：変化をもたらす」、2018-19年度バリー・ラシン会長の「インスピレーションになろう」、そして、2019-20年マーク・ダニエル・マローニー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」となっています。それぞれの会長年度において、新しいビジョンに向けてRI戦略計画を推進されていることがわかります。新しい戦略計画の柱は、ロータリーをさらに明るい未来へ導くために革新性と柔軟性を駆使することです。ロータリーは年々変化しながら発展しつつあります。地区やクラブにおける戦略計画の進捗状況はどうでしょうか。

ロータリー公共イメージコーディネーターの目的は、ロータリー内外でロータリアンを「世界を変える行動人」として描き出す影響力の強いストーリーを特定し、効果的に発信する能力をクラブと地区が強化するのを援助することで、ロータリー戦略計画を積極的に促進することです。革新性には、変革を起こすテクノロジーもあります。これからのロータリーにはICTやネットワークの広がりが必要不可欠ものになります。そのために、My Rotaryのロータリークラブ・セントラルやブランドリソースセンター、ラーニングセンターなどの充実が図られていますが、My Rotaryへの登録率の低迷は重要な課題となります。

ロータリーの会員がロータリーやクラブについてどう語るかによって、ロータリーとその活動や基本理念に対する市民の認識が形づくられます。しっかりとした公共イメージが築かれれば、地域社会や世界の課題に果敢に取り組む「行動人」としてのロータリアンとしての姿を、全世界に一貫したかたちで、地域社会に知ってもらうことができます。

これからは、ロータリーの公共イメージを向上させるために、クラブがマスメディアや広報などを利用してロータリーの奉仕プロジェクトのストーリーを地域の市民に「世界を変える行動人」として伝えることが大切です。また、ソーシャルメディアやMy Rotaryのロータリーショーケースなどを活用することによって、「ロータリーは世界をつなぐ」を実現することになります。

次期第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター 山下 皓三 (鹿児島西RC)